

◎審査にあつた委員

委員長 永沼義和
副委員長 渡辺正美
委員 鈴木一夫 熊田 宏
諸根重男 藤井精七
角田秀明 遠藤 守

《議案第35号》

平成19年度矢吹町国民健康
保健特別会計補正予算(第
1号)

本案は、既定の歳入歳出
予算からそれぞれ4732万3千
円を減額し、歳入歳出予算
の総額をそれぞれ、20億7691
万7千円とするものであり
ます。

歳入の主な内容は、国民
健康保健税を減額し、国庫
支出金、療養費交付金及び
繰越金をそれぞれ増額する
ものであります。歳出の主
な内容は、老人保健拠出及
び介護納付金を減額するも
のであります。

審査結果

可決

平成19年度6月補正予算の概要

国民健康保健特別会計	2,124,240	△47,323	2,076,917
------------	-----------	---------	-----------

6月補正予算主要内容(歳入)

【国民健康保健特別会計】 (単位:千円)

区 分	内 容	補 正 額
一般被保険者 国民健康保険税	医療給付費分現年課税分 介護納付金分現年課税分	△158,746 △13,767
退職被保険者等 国民健康保険税	医療給付費分現年課税分 介護納付金分現年課税分	△2,358 △2,843
療養給付費等負担金	療養給付費負担金	55,565
療養給付費交付金	現 年 度 分	37,229
その他の繰越金	その他の繰越金	37,597

6月補正予算主要内容(歳出)

【国民健康保健特別会計】 (単位:千円)

内 容	補 正 額
老人保険医療費拠出金	△46,697
老人保険事務費拠出金	△338
介護納付金	△288



◎審査にあつた委員

委員長 十文字重康
副委員長 吉田 伸
委員 大木義正 栗崎千代松
柏村 栄 棚木良一
須藤羊一 松谷正良

《議案第34号》

平成19年度矢吹町一般
会計補正予算(第1号)

本案は、既定の歳入
歳出予算に、それぞれ
122万4千円を追加し、
歳入歳出予算の総額を
それぞれ55億3522万4千
円とするものである。
歳入の主な内容は、繰
越金を増額するもので
あります。歳出の主な
内容は、消費税及び教
育費を増額し、民生費
を減額するものであり
ます。

審査結果

可決

平成19年度6月補正予算の概要

【一般会計】 (単位:千円)

会計区分	補正前円額	補正額	計
一般会計	5,534,000	1,224	5,535,224

6月補正予算主要内容(歳出)

【一般会計】 (単位:千円)

区 分	内 容	補 正 額
繰越金	前年度繰越金	1,224

6月補正予算主要内容(歳入)

【一般会計】 (単位:千円)

内 容	補 正 額
保育園運営事業	64
保育園維持修繕事業	△95
舘沢区内線道路整備事業	△930
田町大池線道路整備事業	930
町営住宅維持管理事業	△112
非常備消防団活動運営事業	485
防災行政無線管理運営事業	513
中学生海外派遣事業	86
住宅管理費	112
文化費(長峰地区團場整備事業に伴う埋蔵文化財調査)	171



矢吹町議会議員定数等調査特別委員会 中間報告書書委員長報告

◎特別委員会開催経過及び基本的な考え方

矢吹町議会議員定数等調査特別委員会を3回開催しましたので、その経過について中間報告をいたします。当特別委員会は、全国町村議会議員実態調査や県内の類似規模町村の議員定数、報酬状況などを検討しながら、平成19年12月定例会までの報告期限を目指し、議員定数及び議会活性化のあり方について調査、検討を進めております。当委員会としては行財政改革の推進を目標に掲げながらも、住民の代表として議会本来の役割達成を第一に考え、委員会設置目的に従い今後の議員定数や議会活性化がどうあるべきなのかをこの期間において調査、検討してきました。最初に、平成16年改選時による法定定数からの4名削減経過を踏まえ、その財政的な削減効果と議会運営経過について検証し、財政的には一応の削減効果があったものと判断しながらも、一方で地方分権の推進に伴い地方議会の一層の活性化が望まれており、特に削減にこだわることなく、議会

定数のあり方、議会の活性化方策について議論を重ねてまいりました。この間、町ではにわかに過去に例がないほどの危機的な財政状況との判断から、財政再建計画策定に向け住民説明会が開催され、町民からは議員定数、報酬等の削減が強く叫ばれました。当委員会としてはこれらの意見を真摯に受け止め、果たして町民が言うように単に議員定数、報酬等が削減されればいいのか、反面これらに伴い住民のくらしと福祉増進に対する批判、監視といった議会本来の役割、そして将来にわたる議会の資質向上と存続には影響がないのかといった慎重な議論を重ねながらも、急務とされる財政再建実施を尊重した結果、議員報酬等については議会の活性化、存続に必要な環境保持からも現状に据え置き、議員定数については、委員会の構成方策を講じながら現行定数から2名の削減を検討課題と考え、議会の活性化方策、実践と併せて今後調査検討を進めることで、中間報告といたします。

第1・第2予算委員会の質疑

Q 国保特別会計の当初予算の積算と今回の大幅な補正関係について

A 3月時点当初予算審議時点では所得がわからず暫定で積算している。6月で保険税課税の基礎となる所得が確定し、歳入歳出の数値が固まるため補正で対応しています。

Q 補正で不足部分は基金で対応との答弁があったが基金の状況は。

A 基金保有額の理想は医療費の3ヶ月分とされているが矢吹町は1ヶ月分相当額である。基金の一人当たり保有額は、県平均で11万円、矢吹町は1万4千円です。

Q あゆり温泉などは健康増進施設としての役割があるがその効果は、利用料金値上げで利用者が減少し、健康度が低下してい

くのでは逆効果ではないか。

A 健康増進施設として多くの町民に利用されて、数字的には明らかでないが医療費の抑制のために効果があると思う。なお、料金改定については町の財政再建計画の中でも、利用者の適切な一部負担として計画しています。

Q 透析患者の医療費は高額と聞くと、透析患者数と一人当たりの医療費はいくらになるのか。

A 透析患者数は、国保老人合わせて、25名。一人当たり医療費は月平均40〜45万円となっている。

Q 参議院選の投票日がずれた場合問題はなにか？

A 場所の対応については問題ない。またポスター掲示板についても発注していないため問題はない。

Q 消防予算が縮小したのか、団員から個人の金の持ち出しが多くなってきたという話があったが。

A 予算は以前と余り変わっていない。出張旅費などは役場同様半額になってきている。

Q あさひ保育園のトイレ修繕で、トイレを使用していないのに詰まったので修繕するのはおかしいのでは。

A 今まで使用していなかったが、たまたま使用しようとしたら詰まっていたので修繕したい。

Q 海外派遣事業で生徒数に対して派遣人数が少ないのは問題があるのではないかと、多くの生徒が行ける場所を検討すべきではないか。継続する考えがあるのか。

A 今後も継続する考えでいます。町長よりアジア地域を検討してはどうかと話があります。